

第五次志木市総合振興計画

志木市将来ビジョン

問合せ／政策推進課 内線2215

市では、平成28年度からスタートする、今後の10年間のまちづくりの指針となる「志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画）」を策定しました。将来ビジョンは、これからの志木市をどのようにしていくのか、その方向性を描いたまちづくりの重要な指針となるものです。将来ビジョンで定めた、まちづくりの基本的な考え方である「市民力が結集した夢のあるまちの創造」と「地域資源を活用した魅力の創造」に基づき、「市民力の結集」と「ふるさと資源の活用」により、「ずっと住み続けたい」「住んでみたい」と思える志木を実現します。

まちの将来像

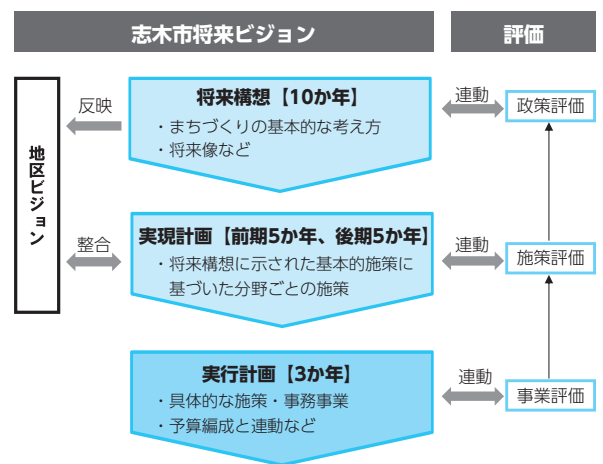
市民力でつくる

未来へ続くふるさと

志木市

ずっと住み続けたい、住んでみたいまちをめざして

【将来ビジョンの構成と実施期間】



将来像を実現するための施策の柱

将来像を実現するため、5つの基本目標を設定し、まちづくりを推進するとともに、基本的な考え方である「市民力が結集した夢のあるまちの創造」と「地域資源を活用した魅力の創造」を施策の柱として、各分野が連携して取り組む4つの戦略プロジェクトを設定しました。

まちづくりの基本的な考え方

市民力が結集した夢のあるまちの創造

人口構成や都市構造の変化を捉えつつ、新たな視点による施策展開により市民力が結集した夢のあるまちづくりを目指します。

地域資源を活用した魅力の創造

コンパクトな地域の特性を踏まえ、近隣市町や官民と連携した施策展開を図り、地域資源を有効に活用した独自のまちづくりを目指します。

5つの基本目標

1. 市民力が生きるまちづくり

都市活力が維持できるように子育て家庭などに対して効果的な支援をするとともに、高齢者が自分らしく生きがいを持って生活できるような施策を展開することで、すべての市民が都市活力の一翼として活躍できるまちづくりを推進します。

2. 市民を支える快適なまちづくり

すべての市民が健康で快適に暮らすことができるように健康・福祉サービスの充実を図るとともに、市民生活を豊かにする生涯学習・文化振興・スポーツ活動が活発に展開されるまちを目指します。

3. 活力と潤いのあるまちづくり

都市の活力となる商工業の振興及び都市農業の経営基盤強化の促進を図るとともに、観光・イベントなどの充実により来訪者の拡大を図ります。また、水と緑にあふれる自然の恩恵を持続的に得られるよう河川の保全や環境負荷の低減を図り、地球環境にやさしく水と緑が豊かなまちを目指します。

4. 未来を支えるまちづくり

市民生活を支える都市基盤の適正な維持管理と計画的な更新を行い、公共公益施設のマネジメントを進めます。また、交通の利便性が高く誰もが暮らしやすいまちづくりを推進するとともに、市民が安心して暮らせるよう自然災害に対する不安の軽減、犯罪や火災の防止に取り組みます。

5. 健全でわかりやすい行政運営

すべての市民が適正な行政サービスを受けられるように、財政の健全化や行政サービスの効率化に取り組みます。また、市民生活に有益な情報を多様な媒体によって積極的に発信します。

市民力が結集した夢のあるまちの創造

1. 市民の健康づくりプロジェクト

市民が積極的にまちづくりに参画できる環境づくりを進めるとともに、スポーツなどを通じた健康づくりを推進し、市民が主体的に健康づくり活動に取り組むまちを目指します。



志木いろはウォークフェスタ

人口構成の変化に伴い少子高齢社会を迎える中で、誰もが安心して生きがいを感じながら住み続けることができるように、市民力を発揮できる仕組みの構築を目指します。

2. 子育て世代定住プロジェクト

これまで住宅都市として発展し、人口が増加してきた本市においても、高齢化が進み、生産年齢人口が減少傾向にあることから、将来的な人口減少に備え、子育て世代が定住し、住み続けることができるまちを目指します。

就労の機会づくりや安心して子育てできる環境づくりなどに取り組み、市民がずっと住み続けたいと思えるよう、地域資源の魅力を高めるとともに市に対する愛着心を育んでいきます。



放課後学習教室

地域資源を活用した魅力の創造

3. 暮らしやすさ向上プロジェクト



デマンド交通

コンパクトな市域を生かし、市民が各施設を利用しやすく移動しやすいまち、効率的な行政サービスにより市民にとって暮らしやすいまちを目指します。公共施設においては、利用頻度や老朽化などを踏まえて、効率的な施設マネジメントと施設利用の活性化を図り、交通環境においては、デマンド交通などによる利便性の向上を図ります。

また、市民が安心して暮らすことができるように、タイムライン（防災行動計画）の確立、避難所・避難路の確保、危険個所の重点整備などにより、災害時に市民の命を守るまちを目指します。

4. 魅力発信プロジェクト

本市の魅力を発信し、志木市を訪れたい、住んでみたいと思うまちを目指します。そのためには、少人数指導体制事業など特色ある施策の情報や魅力を広く発信することはもとより、魅力ある地域資源を発掘し活用するとともに、地域資源に新たな付加価値を与える地域ブランドの創造に取り組めます。



いろは親水公園の桜

また、行政だけではなく、官民連携や広域連携により地域の魅力を発信するとともに、民間組織や学校などとの連携を図り、スポーツ活動や公開講座など市民にも有益で市外から来訪するきっかけにもなるような情報提供を積極的に行います。